


第217回 都市懇サロン レポート	『プレイスメイキングによる都市空間形成 ～賑わいや居心地良い空間づくり～』		
講 師	筑波大学 准教授 渡 和由	開 催 日	平成29年12月5日(火) 18:00~20:00
講 師 プロフィール	<p>1982年筑波大学芸術専門学群・同大学院卒業 GK 設計で筑波万博・横浜博の会場計画設計などを担当 1990年渡米、TLAC、KTGY 社で日米の居住地開発計画を担当 1998年秋から筑波大学芸術系環境デザイン教員。専門分野はプレイスメイキングとサイトプランニング</p>		
お話の概要	<p>プレイスメイキングの都市空間形成について事例等を基に紹介。 (プレイスメイキング(場所づくり・居場所づくり)とは)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①実体感を得られる居場所づくりの概念、②心地良さと楽しさを目指す場づくり、③一人一人の主体的な利用を重視、④賑わいはその結果であり、目的でない、⑤屋内外と半屋外の空間の共用を促進 (プレイスメイキングの設営とその枠組み)</li> <li>・人を中心として、軽微な要素で設営、その空間の枠組みと、家具や工作物の用意、適切な運営人材の用意、自主的な利用、自営的な設営、自然監視の促進、設営支援、飲食提供、清掃、ゴミ収集の運営。 (人を中心としたプレイスメイキングの要素－8つの場－)</li> <li>・①座り場、②眺め場、③囲い場、④陰り場、⑤食場、⑥灯り場、⑦話し場、⑧巡り場 (事例の紹介)</li> <li>・公営プレイスメイキングーつむじ(群馬県中之条町)</li> <li>・民営プレイスメイキングー大街道商店街二丁目エリア(愛媛県松山市)</li> <li>・自営プレイスメイキングー縁側カフェ(静岡県葵区大沢)、TASPARK(茨城県つくば市)、にぎわい広場(下妻市)、観光交流センター(下妻市)等</li> </ul>		
意見交換 の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動イスの重要性について →適切な木陰などが重要。ニューヨークでは可動のイスは盗まれない。下妻市の事例では、市の方の柔軟な対応があった。市の職員の方もはじめは懐疑的だったが、公園に300席イスを並べたところ多くの人が集まり、市の職員も自信をもった事がある。</li> <li>・公共でやる際の発意や人を動かすには? →まずは社会実験としてやってみることがよいのではないかな。</li> <li>・コンサル側のマネジメントについて →すべて無理してやらない。ゆるくやっていくことがよいのではないかな。</li> <li>・スタッフはどれ位の規模から始めるとよいか。 →まずは5人程度からはじめたらどうか。そこからだんだん広げていく形。</li> <li>・イベントの事故などのリスク管理について →市の主催は、イベント保険に加入。他は、自己責任で行っていただくことを周知して取り組んでいる。リスク管理も大事だが、まずやってみることも大事。</li> </ul>		
記録者の ひとこと	<p>・公共空間の一つの使い方として、ハード事業で整備された後に使われていない場所のリノベーションを行ったようなイメージをもった。初期投資は低く抑えられることや仕組みづくりのやりやすさはあるが、一方で持続的につなげていくことが課題と感じた。《都市懇サロン運営部会 委員 島津雅充》</p>		